

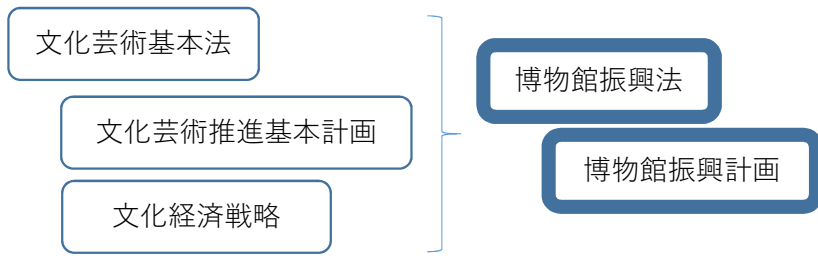
新たな博物館振興施策の見取図（私見）

2019.11.8
佐々木秀彦

資料6

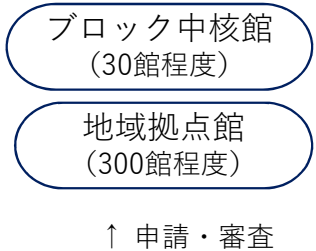
《フェイズ2：文化施設としての展開》

【意義】活動振興（運営の支援）→ 成熟社会への貢献



《施策》

[助成金]
[申請資格]



【参考】
劇場・音楽堂等機能強化支援事業
(文化庁 → 芸術文化振興会)
○総合支援事業
16施設・・・8億3千万円
○地域の中核活性化事業
204施設・・・12億7千万円

《効果》

○地域への貢献
観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業
その他の各関連分野における施策との有機的な連携
(文化芸術基本法より)

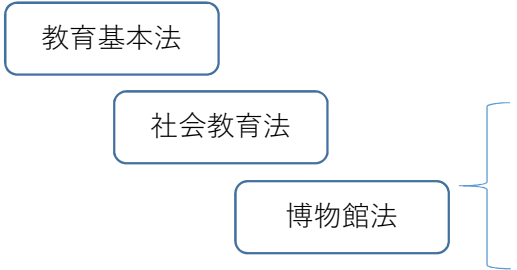
「地域振興施設」の認定

- 基礎的基準の達成
(参考) 日博協：基礎的共通基準案
- 認定学芸員の雇用
(参考) 国立公文書館：認証アーキビスト
アーカイブズ学会：登録アーキビスト
図書館協会：認定司書

○博物館力の底上げ
・経営 (マネジメント)
・収集保管 (コレクション)
・調査研究 (リサーチ)
・公開教育 (コミュニケーション)

《フェイズ1：社会教育施設としての基礎》

【意義】基盤整備（設置の支援）→ 近代ミュージアムの創出



【現状との乖離】
・登録制度；対象限定
・学芸員：理解者養成

- 登録制度
基準→ 土地・建物、資料、職員、開館日数
- 学芸員資格

抜本改正
3つのカベ

- ①法体系 → 改正理由
- ②教育委員会 → 登録審査
- ③大学 → 学芸員資格